

自ら考え 挑戦し続ける子どもを育てます

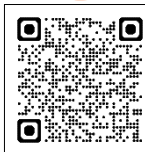


## ～チャレンジ桜井～

令和8年5月29日 No.518



横浜市立桜井小学校



桜井小学校の  
ホームページはこ  
ちらからどうぞ



### 共に未来を創る

校長 遠藤 清美

先日開催いたしました「桜井スポーツフェスティバル」には、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただき、子どもたち一人ひとりの輝く姿をご覧いただきましたこと、心より御礼申し上げます。応援してくださる方々の存在があってこそ、子どもたちもいつも以上の力を発揮することができたものと思います。近隣の皆様には、練習から当日まで放送や太鼓の音などでご迷惑をおかけいたしました。本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

45周年の節目にあたる「桜井スポーツフェスティバル」では、5・6年生によるソーラン節を復活させました。力強い動きと巧みな隊形移動をお楽しみいただけたことと思います。「高学年になったらソーラン節が踊れる」という思いは、下級生にとって憧れの演技となっています。今後も桜井小らしいソーラン節を披露していきたいと考えております。また、このスポーツフェスティバルを通して、嬉しさや悔しさ、仲間との協力、達成感など、子どもたちはこれから成長していくうえで大切な学びを積み重ねることができました。さらに、45周年の記念として初の試みとなる、山手学院中学校・高等学校チアリーダー部の皆様にも応援にいらしていただきました。時間の関係で短い演技ではありましたが、観客の皆様にも元気を届ける素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。近隣校である山手学院とは、今後も交流を深めていきたいと考えています。

大きな学校行事を終え、これからは落ち着いて学習に取り組める時期に入ります。5月に開催した第1回学校運営協議会では読書の習慣が話題となりました。動画を観る機会が増える一方で、文字に触れる機会が減少している現状から、読解力や想像力への影響が懸念されています。また、地域の活動に対して子どもたちがどのような思いをもっているのかを知りたいという意見も出されました。第2回の学校運営協議会では、人生経験豊富な委員の皆様と6年生が語り合う機会を設ける予定です。委員の方からは「子どもは未来の宝である」とのお言葉をいただきました。桜井小学校が地域の中心としての役割を果たし、共に支え合い、高め合える関係を築いていけるよう願っています。

★★公共のマナーについて★★ 登下校中に石を蹴りながら歩いたり、公園で鬼ごっこをしてそのまま道路まで飛び出したりと、危険に繋がる行動が報告されています。学校で指導はしましたが、ご家庭でも公共のマナーについて再度お子さんと確認をしていただき、互いに気持ちよく過ごせるようにお願いします。